

第1章 概 要

(1) 病院の概要

病 院 名	越 谷 市 立 病 院
院 長	津 村 秀 憲
開 院 年 月 日	昭 和 51 年 1 月 12 日
診 療 科 目	内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、 小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、 泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、 リハビリテーション科、放射線科、麻酔科
許 可 病 床 数	一般病床 481 床
基 準 看 護 等 の 承 認	昭和51年7月1日 一般病床 特2類 昭和63年7月1日 4-1・7病棟 特3類 平成5年10月1日 4-2・6-1・6-2病棟 特3類 平成6年10月1日 全病棟 新看護 平成12年4月1日 一般病棟 入院基本料I群(1) 平成18年4月1日 一般病棟 入院基本料(10対1) 平成23年6月1日 一般病棟 入院基本料(7対1)
基 準 給 食 実 施 承 認	昭和51年7月1日
身 体 障 害 運 動 療 法 施 設 基 準 承 認	昭和52年3月1日
重 症 者 の 収 容 実 施 承 認	昭和62年4月1日
指 定 医 療 機 関	健康保険法、国民健康保険法、生活保護法、結核予防法、 身体障害者福祉法、原子爆弾被爆者に対する救護に関する 法律、母子保護法、母体保護法、労働者災害補償保険法、 児童福祉法
医 療 機 関 指 定 番 号	08・0105・0
救 急 告 示 病 院	平成19年12月18日 埼玉県告示第1841号(昭和51年より)
臨 床 研 修 病 院	平成15年10月30日 厚生労働省発医政第1030005号 (平成9年より)
病 院 機 能 評 価	(財)日本医療機能評価機構による審査区分3(Ver.5.0)認定 平成20年6月16日認定 GB374-2号

外来診療に関する事項

1. 診療受付

(1) 受付時間 午前 8 : 30 ~ 午前 11 : 00
(ただし、予約のある方は、午前 8 : 00 ~ 午後 5 : 00)

(2) 休診日 土・日曜日、祝日
年末・年始 (12月29日 ~ 1月3日)

2. 診療開始時間 午前 9 : 00

3. 救急患者受付 午前 8 : 30 ~ 翌日 午前 8 : 30 (救急受付)

(2) 病院の沿革

昭 43 ・ 9 ・ 24	「越谷市立総合病院の建設について」地方自治法第 124 条の規定に基づき、昭和 43 年 8 月 26 日付をもって、自治会連合会長外 26 名より市議会議長に請願書が提出され、同年 9 月定例会において採択される。
昭 44 ・ 10 ・ 1	市立病院を建設するにあたり、大塚市長の指示により、市議会・越谷市医師会・順天堂大学・学識経験者・市の 5 者によって「市立病院建設準備委員会」を構成する。
昭 44 ・ 10 ・ 12	「第 1 回市立病院建設準備委員会」を開催するにあたり関係者の打ち合わせ会議を開催する。大塚市長の市立病院建設構想が発表される。内容は次のとおり。 ① 特に成人病を主とした専門病院とする。 ② 病床数は 300 床とする。 ③ 市医師会との競合はさげたい。 ④ 救急センターも考慮する。
昭 45 ・ 2 ・ 3	「第 1 回市立病院建設準備委員会」を開催する。 ① 看護婦確保のため看護学校の建設 ② 市立病院の性格
昭 45 ・ 3 ・ 25	市議会に「市立病院建設特別委員会」を設置する。
昭 45 ・ 11 ・ 8	昭和 45 年 10 月 1 日付で大塚市長退職。市長選の結果、島村平市郎氏が当選する。
昭 46 ・ 2 ・ 18	市立病院建設特別委員会を開催。島村市長は「200 床の規模の市立病院を建設する」旨計画案を提出。建設工事費 10 億 5,000 万円、開院予定 50 年 4 月、付属施設も含め総工事費 12 億 2,100 万円。委員会はこれを承認する。
昭 47 ・ 2 ・ 10	第 2 回市立病院建設委員会開催。市長が次の事項について諮問する。 ① 市立病院の性格と診療科目の設定について ② 市立准看護学校の設置について ③ 市立病院の設計依頼業者の選定について
昭 47 ・ 3 ～ 9	第 3 回～第 8 回市立病院建設委員会を開催する。
昭 47 ・ 12 ・ 8	埼玉県知事に病院開設許可申請書を提出し、昭和 47 年 12 月 25 日申請どおり許可される。
昭 47 ・ 12 ・ 25	地方公営企業法の規定により病院事業を設置するため「越谷市病院事業の設置等に関する条例」を 12 月定例議会に提案し原案通り可決される。
昭 48 ・ 4 ・ 9	越谷市立准看護学校開校する。
昭 48 ・ 9 ・ 28	市立病院建設特別委員会において、人口急増に伴う救急医療について検討した結果、脳神経外科・整形外科の設置と救急部門の整備充実について強い要望が出される。
昭 48 ・ 11 ・ 11	市長選の結果、黒田重晴氏が当選する。

昭 49 ・ 1 ・ 18	医師会より、市立病院建設委員会への出席者辞退の申し入れ書が提出される。
昭 49 ・ 3 ・ 13	本館工事の起工式が行われる。
昭 49 ・ 5 ・ 29	市と医師会との間で越谷市の地域医療に対する意見の一致をみたので、声明文に市長並びに医師会長による署名が行われる。
昭 49 ・ 6 ・ 17	越谷市立病院のあり方等について市と医師会との間で合意に達し、埼玉県医師会長・越谷市議会議長の立ち会いのもとに協定書及び覚書が締結される。
昭 50 ・ 4 ・ 15	越谷市立高等看護学院開校する。(1部：3年課程、2部：2年課程)
昭 50 ・ 10 ・ 1	越谷市立病院建設事務局を「越谷市立病院」に組織名称を変更する。
昭 50 ・ 10 ・ 1	小谷新太郎氏院長に就任する。
昭 50 ・ 11 ・ 14	越谷市立病院竣工式が開催される。
昭 50 ・ 12 ・ 20	県知事より越谷市立病院の一部使用許可がある。(297床)
昭 51 ・ 1 ・ 1	県知事より保険医療機関指定を受ける。
昭 51 ・ 1 ・ 10	越谷市立病院開院式が開催される。
昭 51 ・ 1 ・ 12	越谷市立病院オープンする。(一般病床 90 床)
昭 51 ・ 3	越谷市立准看護学校指定を取り消し、閉校する。
昭 51 ・ 7 ・ 1	県知事より基準看護(特Ⅱ類)・基準給食・基準寝具設備実施の承認がある。
昭 52 ・ 4 ・ 27	越谷駅ー市立病院間にマイクロバスの運行を開始する(1日往復 32 便)。
昭 52 ・ 5 ・ 13	市立病院運営審議会(第 1 回)を開催。会長坂巻幸次氏・副会長石井節子氏が選任される。市長が次の事項について諮問する。 ① 診療科目の増設について(産科・整形外科) ② 外来診療科目の取扱いについて(補助診療科目の外来診療取扱い) ③ 紹介外来制の緩和について
昭 52 ・ 11 ・ 6	市長選の結果、島村慎市郎氏が当選する。
昭 53 ・ 2 ・ 1	市立病院長・副院長・各科部長が医師会に入会する。
昭 53 ・ 8 ・ 25	市立病院運営審議会から次のとおり答申される。 ① 救急部門の充実を期して諮問されている産科・整形外科・眼科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・皮膚科については、救急部門で取り扱う。 ② 紹介外来制については、市立病院建設委員会における審議の経緯に鑑み、協定書を尊重して今後も存続させる。しかし、公的病院の性格からより良い医療の為、その制度の運営については、今後も検討を続けていくことが必要である。
昭 53 ・ 9 ・ 29	整形外科の開設に関する条例が制定公布される。
昭 53 ・ 11 ・ 1	産科・眼科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・皮膚科の外来診療を開始する。
昭 53 ・ 12 ・ 31	小谷新太郎院長退職する。
昭 54 ・ 1 ・ 22	民営バス・ダイヤ改定による増発に伴い、マイクロバス運行を廃止する。
昭 54 ・ 2 ・ 1	1 日人間ドックを開始する。
昭 54 ・ 3 ・ 1	安井昭氏院長に就任する。

昭 54 ・ 4 ・ 1	整形外科の外来診療を開始する。
〃	人間ドック利用について、埼玉県市町村職員共済組合と契約を締結する。
〃	54 年 3 月学校教育法第 82 条の 8 に規定する専修学校としての許可を受け、「越谷市立高等看護学院」を「越谷市立看護専門学校」と校名を改める。
昭 55 ・ 3 ・ 31	越谷市立看護専門学校 2 部（2 年課程）指定を取り消す。
昭 55 ・ 10 ・ 1	埼玉県東部第三地区第二次救急医療病院群に加入する。
昭 56 ・ 11 ・ 8	市長選の結果、島村慎市郎氏が当選する。（二期目）
昭 57 ・ 3 ・ 31	安井昭院長退職する。
昭 57 ・ 4 ・ 1	渡邊哲男氏院長に就任する。
昭 57 ・ 6 ・ 2	市医師会との協定書（昭和 49 年 6 月 17 日締結）を更改する。
昭 57 ・ 7 ・ 17	市立病院運営審議会を開催。会長に坂巻幸次氏、副会長に石井節子氏が選任される。市長が次の事項について諮問する。
昭 57 ・ 7 ・ 23	① 越谷市立病院財政再建計画書（案）について 市立病院運営審議会から次のとおり答申される。
	① 財政再建の基本方針 越谷市立病院が、地域医療の基幹病院としての機能を今後とも十分に発揮するためには、可及的速やかに財政再建を実施すべきである。財政再建にあたっては、別添の「越谷市立病院財政再建計画書（案）」を再建の基本とすること。
	② 付帯事項 (1) 計画の実施にあたっては、将来の経済的変動、医療の動向等を勘案し、財政再建に努めること。 (2) 地域医療向上のため、市民と関係機関の理解と協力を得て、公的病院としての使命と責任を果たすよう努力すること。
昭 57 ・ 7 ・ 26	県知事より「総合病院」の名称使用承認がある。
昭 57 ・ 12	病棟の改修整備工事を実施する。
昭 58 ・ 2 ・ 16	県知事より病棟の改修に伴う一部使用許可がある。
昭 59 ・ 1 ・ 25	市立病院運営審議会を開催。会長に松村武平治氏、副会長に倉持光治氏が選任される。
昭 59 ・ 11 ・ 13	市立病院運営審議会を開催。市長が「診療科目の変更について」諮問する。即日、市立病院運営審議会から次のとおり答申される。 「診療科目の変更については、呼吸器系疾患の患者の状況から専門的治療が必要であり、諮問のとおり市立病院において呼吸器科を設置することについては適当と認めます。なお、今後も市民の医療需要を的確にとらえ、地域医療機関との一層の連携のなかで基幹病院としての医療水準の向上に努力することを期待します。」
昭 60 ・ 1 ・ 1	呼吸器科を新設するとともに一部診療科名を変更する。
昭 60 ・ 10 ・ 27	市長選の結果、島村慎市郎氏が当選する。（三期目）

昭 60 ・ 11 ・ 11	産科・婦人科において、全国初の「新不妊治療法」による出産に成功する。
昭 60 ・ 12 ・ 23	全国自治体病院協議会の招きにより、中国遼寧省丹東市第一医院の神経外科医・超栄家氏研修のため当院に着任する。(研修期間 3 ヶ月)
昭 61 ・ 1 ・ 12	市立病院開院 10 周年記念誌を発行する。
昭 61 ・ 2 ・ 3	市立病院運営審議会を開催。会長に松村武平治氏、副会長に浜野門平氏が選任される。
昭 61 ・ 4 ・ 11	オーストラリアキャンベルタウン市公式視察団 24 名が来院する。
昭 62 ・ 5 ・ 28 ～ 6 ・ 6	中国遼寧省丹東市第一医院の郭連瑞院長の招請により、中国の医療事情を視察するため、渡邊哲男院長及び池谷不律副診療部長兼脳神経外科部長が訪中する。
昭 63 ・ 2 ・ 19	市立病院運営審議会を開催。会長に浅子進一氏、副会長に浜野門平氏が選任される。
昭 63 ・ 5 ・ 10	越谷市立病院と中国丹東市第一医院との間で、医学技術並びに医療水準の向上を図り、両院の発展と友好関係の充実を目的とし、「友好病院提携に関する合意書」の調印をする。
昭 63 ・ 7 ・ 1	県知事より 4-1 病棟（産科・婦人科病棟）、7 病棟（小児科病棟）が基準看護特三類実施の承認を得る。
昭 63 ・ 8 ・ 4	市立病院内に埼玉銀行市立病院出張所（ATM）が開設される。
昭 63 ・ 11 ・ 30	患者の受入れ、待ち時間の解消等を目的とした外来検討委員会より市立病院長へ協議内容の結果報告がなされる。
平 元 ・ 1 ・ 15	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の内科医・巒開健氏研修のため当院に着任する。(研修期間 6 ヶ月)
平 元 ・ 2 ・ 16	外来改善実施検討委員会が設置され、外来患者の待ち時間等に関する本格的な検討が始まる。
平 元 ・ 3 ・ 31	昭和 57 年度より 7 ヶ年計画で実施してきた市立病院運営審議会答申「財政再建計画」が終了し、懸案であった不良債権の解消が図られ、公営企業としての健全な財政運営を進められることになった。
平 元 ・ 5 ・ 8	中国丹東市第一医院との友好病院提携一周年記念式典に出席のため、渡邊哲男院長及び工藤吉郎救急科部長が訪中する。
平 元 ・ 10 ・ 29	市長選の結果、島村慎市郎氏が当選する。(四期目)
平 2 ・ 2 ・ 1	医事課コンピューター「医事会計システム」が本稼動し、外来患者の待ち時間の短縮を図る。
平 2 ・ 2 ・ 22	市立病院運営審議会を開催。会長に浅子進一氏、副会長に浜野門平氏が選任される。
平 2 ・ 7 ・ 6	院内研修として「医療事故防止について」の講演会を行う。
平 2 ・ 10 ・ 18	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の放射線医師・謝徳寧氏研修のため当院に着任する。(研修期間 6 ヶ月)
平 2 ・ 12 ・ 3	薬剤科において「自動処方せん受付装置・投薬表示装置」を設置する。

平 3・4・30	医事課受付「自動再来受付器」を導入し、医療サービスの向上を図る。
平 3・5・9	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の院長郭連瑞氏他3名の医師が当院を訪問する。
平 3・12・7	外来診療体制「土曜日一予約制」を開始する。(試行期間3ヶ月)
平 4・2・24	市立病院運営審議会を開催。会長に浜野門平氏、副会長に橋本敏章氏が選任される。
平 4・3・17	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の神経外科医師・王徳臣氏研修のため当院に着任する。(研修期間1年)
平 4・3・25	放射線科において「超電導磁器共鳴装置 (MRI)」を設置する。
平 4・3・31	院内電話交換機の改修工事を実施する。
平 4・5・19	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、学术交流のため、黒川重雄放射線科部長及び小崎繁昭臨床検査科技師長が訪中する。(5・30 帰国)
平 4・7・10	県より170床の増床許可を受ける。
平 4・10・23	市立病院運営審議会を開催。増床計画の経過について説明する。
平 4・10・29 ～11・12	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の田曉華副院長、師志敏脳神経外科部長及び鄧来純内科部長の3名が、研修のため、当院を訪問する。
平 5・2・1	循環器科において、「シネアンギオ装置」を設置する。
平 5・3・30	市立病院運営審議会を開催。市長が次の事項について諮問する。 ①越谷市立病院施設整備計画の策定について
平 5・3・31	渡邊哲男院長退職する。
〃	放射線科において「血管造影撮影装置」を設置する。
平 5・4・1	渡部洋三氏院長に就任する。
平 5・4・19	市立病院運営審議会を開催。越谷市立病院施設整備計画(案)について審議される。
平 5・5・8	市立病院運営審議会・小委員会を開催。越谷市立病院整備計画(案)について審議される。
平 5・5・24	市立病院運営審議会を開催。越谷市立病院整備計画の策定について答申がある。
平 5・6・8	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、学术交流のため、羽里信種副院長及び鈴木ミワ看護部長が訪中する。(6・17 帰国)
平 5・10・1	県知事より4-2病棟(循環器科病棟)、6-1病棟(脳神経外科・眼科病棟)、6-2病棟(外科病棟)が基準看護特三類実施の承認を得る。
平 5・11・11	市長選の結果、島村慎市郎氏が当選する。(五期目)
平 5・11・15	市立病院運営審議会を開催。平成4年度越谷市立病院事業会計決算状況について説明する。
平 5・12・1	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の院長郭連瑞氏当院を表敬訪問する。(12・14 帰国)

平 6・1・28	市立病院運営審議会を開催。「土曜日外来診療体制について」諮問する。(1・31 答申)
平 6・2・28	市立病院運営審議会を開催。会長に大野邦彦氏、副会長に浜野義臣氏が選任される。
平 6・4・11	市立病院運営審議会を開催。市長が次の事項について諮問する。 ① 医薬分業の導入について
平 6・5・2	増築工事を着工する。
平 6・5・11	市立病院運営審議会を開催。医薬分業について審議される。(5・19 答申)
平 6・5・24	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、学术交流のため、渡部洋三院長及び山本勉副診療部長が訪中する。(6・2 帰国)
平 6・10・1	県知事より全7病棟が新看護2対1看護実施の承認を得る。
平 6・10・17	市立病院運営審議会を開催。平成5年度越谷市立病院事業会計決算状況について説明する。
平 7・3・16	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の放射線科医師・于涛氏研修のため当院に着任する。(研修期間6ヶ月)
平 7・5・11 ～ 5・25	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の李英民院長、李有源副院長及び王兆梅看護部長の3名が当院を表敬訪問する。
平 7・9・19	改修工事を着工する。
平 7・10・20	市立病院運営審議会を開催。平成6年度越谷市立病院事業会計決算状況について説明する。
平 8・2・29	市立病院運営審議会を開催。会長に大野邦彦氏、副会長に松永房太郎氏が選任される。
平 8・3	市立病院開院20周年記念誌を発行する。
平 8・4・26	増築棟竣工式が行われる。
平 8・5・1	特別の療養環境に係る特定療養費(室料差額)を導入する。
平 8・5・20	市立病院運営審議会を開催。「駐車場の有料化について」諮問する。(6・21 答申)
平 8・10・22	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、平岩友道麻醉科部長及び杉本昭彦事務部長が訪中する。(10・31 帰国)
平 9・1・6	院外処方せんの発行を診療部の一部で始める。(7・7 全科で実施)
平 9・1・9	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の外科医師・張輝氏研修のため当院に着任する。(研修期間6ヶ月)
平 9・3・31	放射線科において、「医用リニアック及び放射線治療システム」を設置する。
平 9・4・1	厚生省より臨床研修病院に指定される。
平 9・6・18 ～ 7・1	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の郭本臣行政副院長、千興泉医事部長、馬志山薬剤科部長及び姜政偉放射線科医師の4名が当院を表敬訪問する。
平 9・9・30	市立病院運営審議会を開催。平成8年度越谷市立病院事業会計決算状況について

	て説明する。
平 9・10・26	市長選の結果、板川文夫氏が当選する。
平 10・3・11	改修工事が竣工する。
平 10・4・6	4-1 病棟の診療が開始され、10 病棟となる。
平 10・4・9	市立病院運営審議会を開催。会長に大野邦彦氏、副会長に松永房太郎氏が選任される。
平 10・5・26	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、学術交流のため、横松守内科部長、津村秀憲外科部長及び井上京子看護部長が訪中する。(6・4 帰国)
平 10・8・6	市立病院運営審議会を開催。「神経内科の新設について」諮問する。(8・6 答申)
平 10・10・1	神経内科診療を開始する。
〃	朝日バスが運行開始される。(南越谷駅北口～市立病院～花田・市立図書館)
平 10・10・26 ～ 11・6	越谷市制施行 40 周年記念式典参加及び友好病院提携 10 年を記念し、中国丹東市第一医院郭連瑞名誉院長、李紹溪院長、武曉内科主任及び謝德寧 CT 科副主任の 4 名が来院する。
平 11・5・13	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の放射線科医師・何徳飛氏研修のため当院に着任する。(研修期間 1 年)
平 11・5・25	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、学術交流のため、松本文夫手術室長及び丸木親脳神経外科部長が訪中する。(6・3 帰国)
平 11・9・1	越谷市立病院倫理委員会を設置する。
平 11・10・1	越谷市立病院脳死判定委員会を設置する。
平 11・10・20	市立病院運営審議会を開催。脳死判定委員会の設置を報告する。
平 12・3・31	渡部洋三院長退職する。
平 12・4・1	山本勉氏院長に就任する。
平 12・4・17 ～ 4・28	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の周俊武行政副院長、姜彩华中医科主任及び孔杰辰神経内科主任の 3 名が当院を表敬訪問する。
平 12・5・17	市立病院運営審議会を開催。会長に大野邦彦氏、副会長に松永房太郎氏が選任される。
平 12・10・1	渡部洋三氏名誉院長となる。
平 12・10・16	越谷市医師会との病診連携事業を開始する。
平 12・11・15	タローズバスが運行開始される。(新越谷駅東口～市立病院～吉川・松伏工業団地)
平 13・4・1	診療情報の提供を開始する。
平 13・5・24	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院副院長(外科医師) 吳瑤強氏研修のため当院に着任する。(研修期間 6 ヶ月)
平 13・9・21	北葛南部医師会との病診連携事業を開始する。(9・21 吉川支部、10・9 三郷支部、10・24 松伏支部)
平 13・10・4	埼玉県医師会より臨床検査精度管理事業最優秀施設として表彰される。

平 13 ・ 10 ・ 28	市長選の結果、板川文夫氏が当選する。(二期目)
平 14 ・ 5 ・ 28	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、学術交流のため、山本勉院長、大日方薫小児科部長及び須中信之庶務課管理係長が訪中する。(6・7 帰国)
平 14 ・ 7 ・ 31	市立病院運営審議会を開催。会長に大野邦彦氏、副会長に青木並五郎氏が選任される。「非紹介患者の初診に係る特定療養費制度の導入について」諮問する。(10・30 再審議、11・7 答申)
平 14 ・ 9 ・ 27	草加八潮医師会との病診連携事業を開始する。
平 15 ・ 3 ・ 3	オーダーリングシステムの一部を供用開始する。
平 15 ・ 3 ・ 17	(財) 日本医療機能評価機構の認定(一般病院種別 B)を受ける。
平 15 ・ 6 ・ 23	外来診療費自動精算機を供用開始する。
平 15 ・ 10 ・ 1	初診に係る特定療養費制度を導入。
平 15 ・ 10 ・ 30	厚生労働省より(新)臨床研修病院に指定される。
平 15 ・ 11 ・ 21	市立病院運営審議会を開催。平成 14 年度越谷市立病院事業会計決算状況について説明する。
平 16 ・ 3 ・ 1	レセプト電算処理を開始する。
平 16 ・ 4 ・ 1	経営健全化プロジェクトを開始する。
平 16 ・ 5 ・ 1	新制度による臨床研修医を受け入れる。
平 16 ・ 8 ・ 27	市立病院運営審議会を開催。会長に大野邦彦氏、副会長に青木並五郎氏が選任される。
平 16 ・ 11 ・ 1 ～ 11 ・ 12	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、中国丹東市周世有衛生局長、丹東市第一医院王伟副院長、謝徳寧放射線科部長の 3 名が当院を表敬訪問する。
平 16 ・ 12 ・ 13	入院の電子カルテの供用を開始する。
平 17 ・ 1 ・ 20	入院診療費自動精算機(デビットカード専用)を供用開始する。
平 17 ・ 2 ・ 14	開放型病床を開始する。
平 17 ・ 3 ・ 31	越谷市立看護専門学校が閉校される。
平 17 ・ 4 ・ 15	総合案内ボランティアが活動を開始する。
平 17 ・ 5 ・ 23	越谷市立病院個人情報保護対策委員会を設置する。
平 17 ・ 9 ・ 29	開放型病院共同指導料の施設基準に係る届出を行う。
平 17 ・ 9 ・ 30	音楽ボランティアグループが活動を開始する。
平 17 ・ 10 ・ 30	市長選の結果、板川文夫氏が当選する。(三期目)
平 18 ・ 3	市立病院開院 30 周年記念誌を発行する。
平 18 ・ 8 ・ 29	市立病院運営審議会を開催。会長に青木並五郎氏、副会長に田中東穂氏が選任される。
平 19 ・ 3 ・ 28	市立病院運営審議会を開催。越谷市立病院「経営ビジョン」の承認を得る。
平 19 ・ 4 ・ 1	事務部組織変更により庶務課、医事課の係を担当制に変更するとともに、庶務課に経営調整担当、医事課に医療連携担当を設置する。
平 19 ・ 7 ・ 1	中央材料室及び中央手術室の整備改修工事により ME 機器室を新設するとともに

	中央材料室の名称を中央滅菌室に変更する。
平 19 ・ 10 ・ 1	SPD が稼動を開始する。
平 20 ・ 4 ・ 1	院内保育所「さくら保育室」を開所する。
平 20 ・ 6 ・ 16	(財) 日本医療機能評価機構「病院機能評価 (一般 200 床以上 500 床未満)」の更新認定 (Ver.5) を受ける。
平 20 ・ 7 ・ 1	診療群分類包括評価を用いた入院医療費の定額支払い制度 (DPC) による診療報酬請求を開始する。
平 20 ・ 8 ・ 27	市立病院運営審議会を開催。会長に飯島亮氏、副会長に河原常美氏が選任される。
平 21 ・ 10 ・ 25	市長選の結果、高橋努氏が当選する。
平 21 ・ 11 ・ 6	市立病院運営審議会を開催。会長に河原常美氏、副会長に鯉淵肇氏が選任される。
平 22 ・ 3 ・ 24	市立病院運営審議会を開催。越谷市立病院「第二期中期経営計画」の承認を得る。
平 22 ・ 4 ・ 1	診療部薬剤科の係を担当制に変更する。
平 22 ・ 7 ・ 1	6-2 病棟に脳卒中ケアユニット 3 床を開設する。
平 22 ・ 8 ・ 27	市立病院運営審議会を開催。会長に河原常美氏、副会長に高橋剛三氏が選任される。
平 23 ・ 3 ・ 31	山本勉院長退職する。
平 23 ・ 4 ・ 1	津村秀憲氏院長に就任する。
平 23 ・ 4 ・ 1	山本勉氏名誉院長となる。
平 23 ・ 4 ・ 18	タローズバスが運行開始される。(せんげん台駅～市立病院)
平 23 ・ 5 ・ 1	順天堂大学に地域総合診療研究講座を開設する。
平 24 ・ 3 ・ 14	内視鏡室等増築工事 (西棟) 竣工。

(3) 届出に関する事項

(H24. 3. 31 現在)

(3) - 1 基本診療料に関する事項

- | | |
|--------------------------|-----------------------------------|
| 1. 一般病棟入院基本料 1 | 平成 18 年 4 月 1 日届出受理(一般入院)第 1724 号 |
| 2. 入院時食事療養(Ⅰ) | 平成 10 年 5 月 1 日届出受理(食)第 152 号 |
| 3. 院内感染防止対策 | 平成 10 年 4 月 1 日届出受理(感防)第 208 号 |
| 4. 褥瘡患者管理加算 | 平成 18 年 4 月 1 日届出受理(褥)第 77 号 |
| 5. 診療録管理体制加算 | 平成 14 年 10 月 1 日届出受理(診療録)第 29 号 |
| 6. 臨床研修病院入院診療加算 | 平成 16 年 9 月 1 日届出受理(臨床研修)第 25 号 |
| 7. 療養環境加算 | 平成 10 年 4 月 1 日届出受理第 92 号 |
| 8. 超急性期脳卒中加算 | 平成 20 年 4 月 1 日届出受理(超急性期)第 4 号 |
| 9. 重症者等療養環境特別加算 | 平成 10 年 5 月 1 日届出受理(重)第 9 号 |
| 10. 小児入院医療管理料 3 | 平成 21 年 4 月 1 日届出受理(小入 2)第 4 号 |
| 11. 脳卒中ケアユニット入院医療管理料 | 平成 22 年 7 月 1 日届出受理(脳卒中ケア)第 6 号 |
| 12. 開放型病院共同指導料Ⅱ | 平成 17 年 10 月 1 日届出受理(開)第 31 号 |
| 13. 栄養管理実施加算 | 平成 20 年 1 月 1 日届出受理(栄養管理)第 322 号 |
| 14. 感染防止対策加算 | 平成 23 年 3 月 1 日届出受理(感染防止)第 29 号 |
| 15. ハイリスク妊産婦共同管理料Ⅱ | 平成 19 年 4 月 1 日届出受理(ハイⅡ)第 11 号 |
| 16. ハイリスク分娩加算 | 平成 21 年 4 月 1 日届出受理(ハイ分娩)第 8 号 |
| 17. ハイリスク妊娠管理加算 | 平成 21 年 4 月 1 日届出受理(ハイ妊娠)第 5 号 |
| 18. 退院調整加算 | 平成 20 年 4 月 1 日届出受理(退院)第 7 号 |
| 19. 後期高齢者退院調整加算 | 平成 20 年 4 月 1 日届出受理(後期退院)第 5 号 |
| 20. 妊産婦緊急搬送入院加算 | 平成 20 年 4 月 1 日届出受理(妊産婦)第 7 号 |
| 21. 新生児入院医療管理加算 | 平成 21 年 10 月 1 日届出受理(新入)第 16 号 |
| 22. 救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算 | 平成 18 年 4 月 1 日届出受理(救・乳)第 42 号 |
| 23. 超急性期脳卒中加算 | 平成 20 年 4 月 1 日届出受理(超急性期)第 4 号 |
| 24. 急性期病棟等退院調整加算 1 | 平成 22 年 7 月 1 日届出受理(急性退院 1)第 55 号 |
| 25. 医療安全管理対策加算 1 | 平成 22 年 4 月 1 日届出受理(医療安全)第 131 号 |

(3) - 2 特掲診療料に関する事項

- | | |
|------------------------|----------------------------------|
| 1. 地域連携診療計画管理料(Ⅰ) | 平成 20 年 8 月 1 日届出受理(地連携)第 33 号 |
| 2. 地域連携小児夜間・休日診療料 1 | 平成 21 年 10 月 1 日届出受理(小夜 1)第 29 号 |
| 3. 地域連携夜間・休日診療料 | 平成 22 年 4 月 1 日届出受理(夜)第 12 号 |
| 4. 呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ) | 平成 18 年 4 月 1 日届出受理(呼Ⅰ)第 25 号 |
| 5. 脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ) | 平成 20 年 4 月 1 日届出受理(脳Ⅰ)第 65 号 |
| 6. 運動器リハビリテーション料(Ⅰ) | 平成 22 年 4 月 1 日届出受理(運Ⅰ)第 122 号 |
| 7. 検体管理加算 | 平成 8 年 4 月 1 日届出受理(検)第 4 号 |

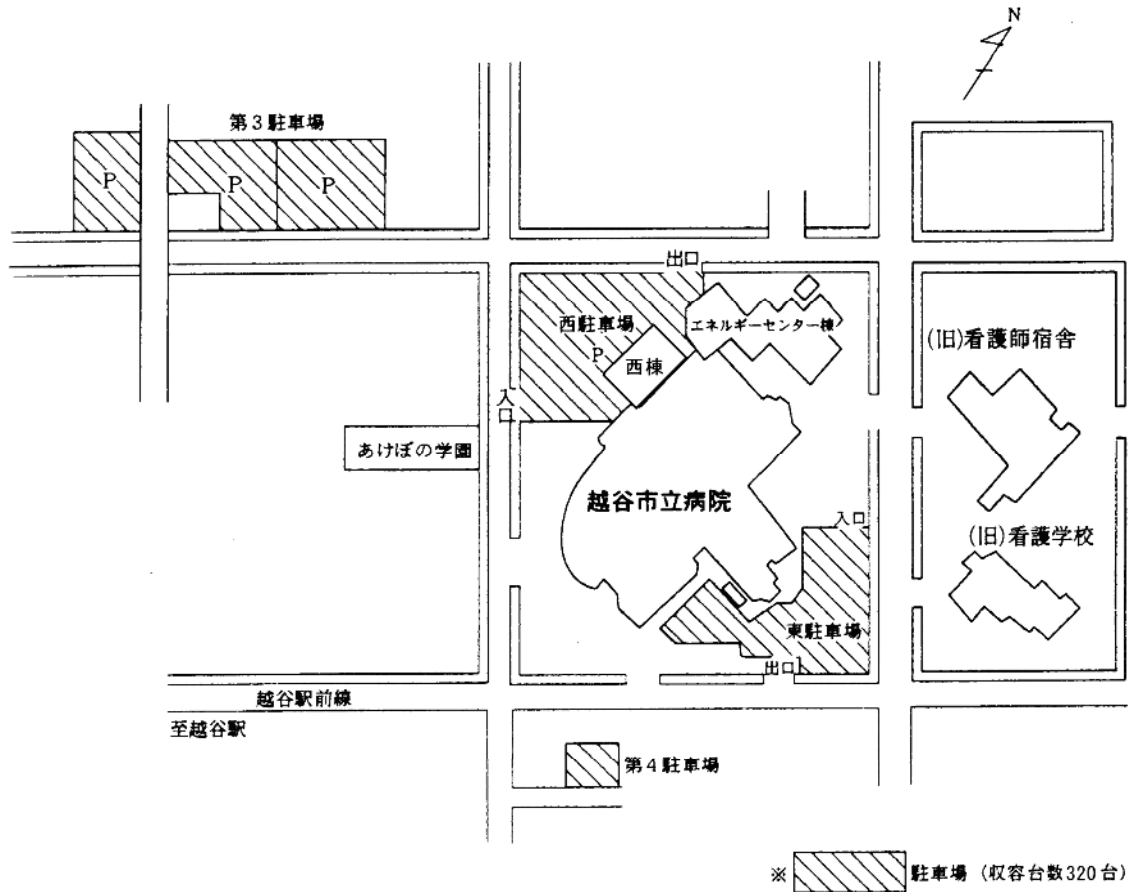
8. 画像診断管理加算 2	平成 21 年 10 月 1 日届出受理(画)第 64 号
9. 薬剤管理指導料(医薬品安全性情報等管理体制加算有)	平成 22 年 4 月 1 日届出受理(薬)第 173 号
10. 無菌製剤処理加算	平成 20 年 4 月 1 日届出受理(菌)第 17 号
11. 高エネルギー放射線療法	平成 14 年 4 月 1 日(高放)第 7 号
12. 放射線治療専任加算	平成 14 年 5 月 1 日(放専)第 5 号
13. 外来放射線治療加算	平成 20 年 4 月 1 日届出受理(外放)第 7 号
14. 高度難聴指導管理料	平成 19 年 7 月 1 日届出受理(高)第 131 号
15. 検体検査管理加算(Ⅰ)	平成 20 年 4 月 1 日届出受理(検)第 14 号
16. 検体検査管理加算(Ⅱ)	平成 21 年 7 月 1 日届出受理(検Ⅱ)第 70 号
17. 検体検査管理加算(Ⅳ)	平成 22 年 4 月 1 日届出受理(検Ⅳ)第 10 号
18. 血液細胞核酸増幅同定検査	平成 22 年 4 月 1 日届出受理(血)第 4 号
19. H P V 核酸同定検査	平成 22 年 4 月 1 日届出受理(H P V)第 131 号
20. 外来化学療法加算 1	平成 20 年 10 月 1 日届出受理(外化 1)第 12 号
21. がん性疼痛緩和指導料	平成 22 年 4 月 1 日届出受理(がん疼)第 72 号
22. 麻酔管理料(Ⅰ)	平成 8 年 10 月 1 日届出受理(麻管)第 37 号
23. 医療機器安全管理料 1	平成 20 年 4 月 1 日届出受理(後期退院)第 79 号
24. 神経学的検査	平成 20 年 4 月 1 日届出受理(神経)第 10 号
25. ポジトロン断層撮影	平成 20 年 8 月 1 日届出受理(ポジ)第 8 号
26. 直線加速器による放射線治療	平成 16 年 4 月 1 日届出受理(直定)第 4 号
27. 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	平成 18 年 4 月 1 日届出受理(腎)第 27 号
28. 単純 C T 撮影及び単純 MR I	平成 18 年 4 月 1 日届出受理(単)第 128 号
29. 心臓 MR I 撮影加算	平成 22 年 7 月 1 日届出受理(心臓 M)第 22 号
30. エタノールの局所注入(甲状腺)	平成 18 年 4 月 1 日届出受理(エタ甲)第 6 号
31. エタノールの局所注入(副甲状腺)	平成 18 年 4 月 1 日届出受理(エタ副甲)第 5 号
32. 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡 検査加算	平成 22 年 4 月 1 日届出受理(血内)第 3 号
33. 埋込型心電図記録計移植術及び埋込型心電図 記録計摘出術埋込型心電図検査	平成 22 年 4 月 1 日届出受理(埋心電)第 13 号
34. 経皮的中隔心筋焼灼術	平成 18 年 4 月 1 日届出受理(経中)第 11 号
35. 大動脈バルーンパンピング法(Ⅰ A P B 法)	平成 18 年 4 月 1 日届出受理(大)第 14 号
36. 小児食物アレルギー負荷検査	平成 21 年 10 月 1 日届出受理(小検)第 31 号
37. ペースメーカー移植術、ペースメーカー交換術	平成 18 年 4 月 1 日届出受理(ペ)第 16 号
38. 乳がん悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算 2)	平成 22 年 4 月 1 日届出受理(乳セ)第 17 号
39. センチネルリンパ節生検	平成 22 年 4 月 1 日届出受理(セ)第 14 号
40. 内服・点滴誘発試験	平成 22 年 4 月 1 日届出受理(誘発)第 10 号
41. 抗悪性腫瘍剤処方管理加算	平成 22 年 4 月 1 日届出受理(抗悪処方)第 29 号
42. がん患者カウンセリング料	平成 22 年 11 月 1 日届出受理(がんカ)第 31 号
43. 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	平成 23 年 6 月 1 日届出受理(脊刺)第 31 号

(4) 配置図等

(4) - 1 配置図 (増築棟・既存棟)

増築棟		既存棟		西棟	
		塔屋 2F 181.982 m ²	エレベーター 機 械 室	3F 357 m ²	会 議 室
塔屋 1F 57.826 m ²	エレベーター 機 械 室	塔屋 1F 160.657 m ²	機 械 室	2F 357 m ²	外 来 治 療 室 患 者 相 談 室
8F 1,107.890 m ²	8 - 1 病 棟	8F 709.855 m ²	医局・図書室 臨床研修医室	1F 357 m ²	内視鏡センター 医 療 相 談 室
7F 1,082.020 m ²	7 - 1 病 棟	7F 1,061.934 m ²	7 - 2 病 棟 おおぞら学級		
6F 1,082.020 m ²	6 - 1 病 棟	6F 1,438.485 m ²	6 - 2 病 棟		
5F 1,082.020 m ²	5 - 1 病 棟	5F 1,438.485 m ²	5 - 2 病 棟		
4F 1,082.020 m ²	4 - 1 病 棟	4F 1,438.485 m ²	4 - 2 病 棟		
3F 1,069.020 m ²	3 - 1 病 棟	3F 1,781.526 m ²	中央滅菌室 手術室 心臓カテーテル検査室 ME機器室 麻酔科外来		
2F 1,218.394 m ²		2F 3,067.534 m ²	外・・・・・臨院副診看庶看職 眼泌産外消中床院療護護員 尿・化央採検長部部務事食 器婦器血查查長長長務食 来科科科科科室科室室室室課室堂		
1F 1,987.350 m ²		1F 3,187.756 m ²	外・・・・・リ救・・警売理栄栄女 整皮耳脳神ハヒリ救1備養子 形鼻神経急 備容相養休 膚咽経内急2員容相養休 外喉外内病病病談憩 来科科科科科科門科棟室店室室科室		
B1F 1,557.092 m ²		B1F 2,048.636 m ²	放解標靈X男 射子 剖本安ル休 線ム保管 科室室室庫室		
薬カ診ベリ機用 ル療床(清メネ度 剤録ド潔・不クンA倉 テ管メイク・ン・ 科室室室)室B庫					

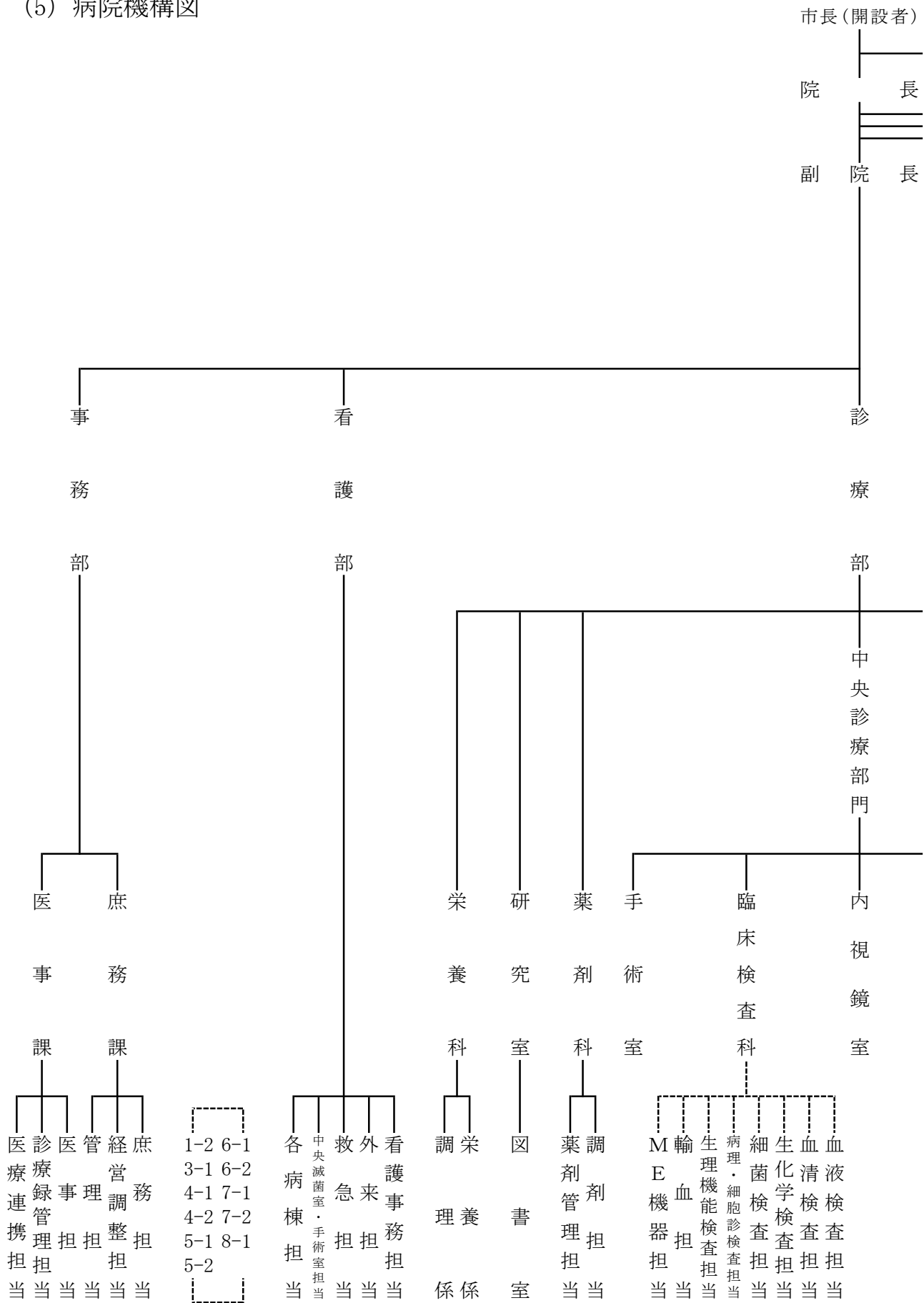
(4) - 2 配置図



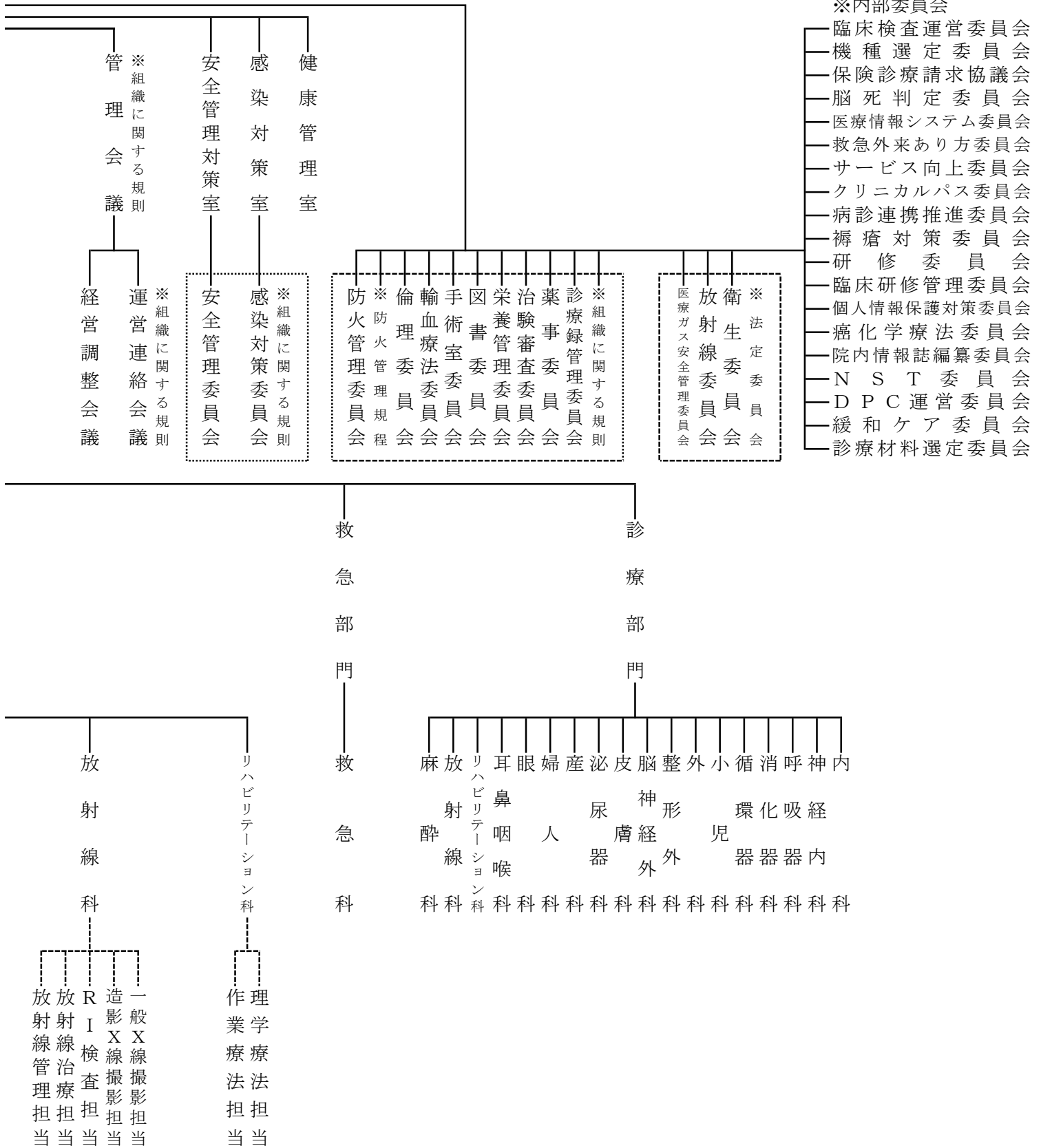
(4) - 3 病棟配置

7-1 病棟	内科・呼吸器科
7-2 病棟	小児科
6-1 病棟	整形外科・消化器科
6-2 病棟	脳神経外科・神経内科
5-1 病棟	消化器科
5-2 病棟	外科
4-1 病棟	耳鼻咽喉科・泌尿器科・眼科・皮膚科・人間ドック
4-2 病棟	産科・婦人科
3-1 病棟	循環器科・婦人科
1-2 病棟	救急科

(5) 病院機構図



※運営審議会条例
 運営審議会



(6) 施設の概要

(6) - 1 建物の概要

区分 \ 建物	既存棟	増築棟	エネルギーセンター棟	西棟
所在地	越谷市東越谷十丁目47番地1			
敷地面積	20,566.20 m ²			
建物構造	SRC B1F～8F 塔屋 2F	SRC B1F～8F 塔屋 2F	SRC B1F～3F	S 1F～3F
床面積	16,515.335 m ²	11,325.652 m ²	2,245.290 m ²	1,072.34 m ²
工期	S49.4.1～ S50.12.25	H6.5.2～ H8.3.15	S49.4.1～ S50.12.25	H23.7.10～ H24.3.15

(6) - 2 施設の概要

◎ 電気

1. 受電及び契約電力

6KV 3相 3線 50Hz 1,300KW

2. 変電設備

(イ) 主変電所 (エネルギーセンター棟)

変圧器：動力用 計 1,000KVA

電灯用 計 800KVA

放射線機器用 計 1,500KVA

その他用 計 300KVA

(ロ) 第2変電所 (エネルギーセンター棟)

増築棟用

変圧器：動力用 計 1,100KVA

電灯用 計 1,000KVA

(ハ) 西棟変電所 (キュービクル)

変圧器：動力用 計 150KVA

電灯用 計 75KVA

3. 発電設備

(イ) 発電機 3相 6KV 50Hz 1,000KVA

(ロ) 発電機 3相 6KV 375KVA

増築棟用

4. 蓄電設備

(イ) 全密閉据置鉛蓄電池 DC100V 600AH

(ロ) 全密閉据置鉛蓄電池 DC100V 200AH

増築棟用

◎ 衛生

1. 給水設備

受水槽 2槽 病院棟

高架水槽 2槽 病院棟

揚水ポンプ 2台 病院棟

2. 衛生設備

ポンプ 38台 病院棟

◎ 空調

1. 熱源設備

冷温水発生機 500USRT 2基

炉筒煙管式ボイラー 2缶

2. 空調設備

空調系統数 43系統

ファンコイルユニット 582基

全熱交換器 31基

◎ 昇降機

1. 病院本館用エレベーター

乗用エレベーター9人乗 2基

乗用油圧エレベーター 1基

患者輸送用エレベーター 3基

入荷用エレベーター 1基

配膳用エレベーター 1基

エスカレーター 2基 (昇降)

西棟乗用エレベーター11人乗 1基

◎ 搬送

1. 自動気送設備 38ステーション

◎ 医療ガス

液体酸素、酸素、笑気、窒素、圧縮空気

◎ その他

電話 iox-1060 電子交換機

汚水処理 公共下水道へ接続

換気設備 50台

排煙設備 3台

冷蔵設備 1台

消火設備 屋内散水栓、連絡送水管、

スプリンクラー、

炭酸ガス消火設備

浴槽濾過設備

監視制御設備

動力設備

放送設備

通信設備

防災設備

(7) 主要医療機器等一覧 (購入額1千万円以上及びリース分を含む)

【循環器科】

(注) *はリース分

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
11	心臓超音波診断装置	SONOS5500M2425A	1	日本ヒューレット・パッカード(株)
14	血管内超音波診断装置	GALAXYIVUS イメージングシステム	1	ボストンサイエンティフィック
15	心臓血管撮影装置	AXIOM Artis dFC	1	シーメンス旭メディテック(株)
〃	心臓カテーテル検査装置	RMC-3100	1	日本光電(株)
22	循環器動画像ネットワークシステム	Cardio Agent	1	東芝メディカルシステムズ

【脳神経外科】

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
2	手術用顕微鏡	6FD	1	永島医科器械(株)
16	手術用顕微鏡	MM-30, SOHスタンド	1	三鷹光器(株)

【泌尿器科】

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
9	体外衝撃波結石破砕装置	ドルニエリソトリプターCS	1	ドイツ ドルニエ社

【産科・婦人科】

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
9	分娩監視システム	MF-7400	1	トーイツ(株)

【眼科】

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
63	手術用顕微鏡	WILDM690	1	スイス ウィルド社
10	超音波白内障手術装置	20000レガシー	1	米国アルコン社
〃	マルチカラーレーザー光凝固装置	ノーバスオムニ	1	コヒレント社(米国)
21	眼底三次元画像解析OCT装置	RS-3000	1	ニデック
23	超音波白内障手術装置	インフィニティ OZIL	1	日本アルコン

【整形外科】

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
3	総合筋力評価訓練システム	サイベックス-6000A	1	メディカ(株)

【放射線科】

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
3	MRI装置	MAGNETOM impact	1	シーメンス旭メディテック(株)
4	救急用X線撮影装置	DHF-155H	1	〃
8	X線透視撮影装置	DDA-400A	1	東芝メディカル(株)
〃	医用リニアック及び放射線治療システム	HL1500型他	1	(株)日立メディコ
11	X線シミュレータ	LX-40A	1	東芝メディカル(株)
〃	X線CT装置	ゾマトムプラス4ボリュームズーム	1	シーメンス旭メディテック(株)
12	X線テレビシステム	winScope5000	1	東芝メディカル(株)
13	コンピューテッドラジオグラフィシステム	富士FCR5501PLUS・FCR5000PLUS	1	富士フィルムメディカル(株)
14	X線透視撮影装置	DHF-153VC II	1	(株)日立メディコ
16	磁気共鳴画像診断装置	MAGNETOM Avanto	1	シーメンス旭メディテック(株)
18	汎用血管造影撮影装置	Allura Xper FD20	1	(株)フィリップスエレクトロニクスジャパン
19	乳房撮影装置	マンモマート1000	1	シーメンス旭メディテック(株)
20	核医学診断装置SPECT-CT	インフォニア8フォークアイ4	1	GE横河メディカル

【臨床検査科】

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
9	全自動細菌検査システム	Walk Away-96	1	米国マイクロスキヤン社
19*	HSTランスポートーションシステム	XE-Alpha N	1	シスメックス(株)
〃*	多項目自動血球分析装置	XE-2100	1	シスメックス(株)
〃*	全自動血液凝固装置	CS-2100i	1	シスメックス(株)
〃*	免疫測定装置 アーキテクトアナライザー	i2000SR	1	アボットジャパン(株)
〃*	臨床化学自動分析装置(無停電装置付)	TBA-c1600	2	東芝メディカルシステムズ(株)
〃*	検体前処理分注液装置	Lab FLEX2500	1	アロカ(株)
20	超音波診断装置	ProSound SSD-α	1	アロカ(株)
22	病理検査システム	Drヘルパー Beginsアプリケーション	1	東芝住電医療情報システムズ(株)
〃*	臨床検査システム	CLINILAN GL-2	1	(株)エイ・アンド・ティー
23	自動採血管準備システム	BC・ROBO-8000REID/T42	1	(株)テクノメディカ

【中央滅菌室】

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
18	洗浄滅菌システム	WD-290-50、ステラッド200 他	1	村中医療器械、ジョンソン・エンド・ジョンソン㈱

【薬剤科】

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
19	薬剤管理指導業務サポートシステム	スーパーサポートシステムSSS	1	㈱アイシーエム

【事務部】

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
22	医療情報システム(電子カルテ)	sumi ACCEL-ER Ver.3.3	1	東芝住電医療情報システムズ㈱